

すまいる きづ川

冬号

理事長から新年のご挨拶

新院長から就任のご挨拶

成年スタッフ インタビュー

城陽名所めぐり

城陽梅のやしき 盆梅展

啓信会グループのご紹介

デイサービスセンターがオープン

元気になるレシピ

【冬のキー素材】

寒い季節に役立つ食材いろいろ

医療トピックス

手術の運行をよりスムーズにする

手術用顕微鏡

2005年のイベント報告

啓信会創業50周年記念祝賀会

京都きづ川病院 健康まつり



楽しくて健康によいことを始めましょう

新年あけましておめでとございます。

医療法人啓信会
理事長 中野 博美



日頃から京都きづ川病院をはじめ、京都四条病院、老人保健施設「萌木の村」などの医療法人 啓信会の施設をご利用くださいます。誠にありがとうございます。今年も利用者の皆様のご意見を元に、各施設とも運営をまとめて参りたいと考えていますので、是非とも多くのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、つまらない話ですが私奴、7、8年前からサイクリングを再開いたしました。主に京都市内の鴨川の河川敷を行ったり来たりしています。大体はカメラをぶらさげて撮影していますが、主なる撮影対象は「鴨川の堰」であります。あの川の中にある滝のようになってる堰ですが、構造的には「床止め」といって単純に治水利水に関する河川構造物であります。しかしながら、流れ落ちる水がレー

スのカーテンのように見えたり、水音が周囲に優しく響いたり、また堰の周囲に集まる鳥などが調和して、集まる人々の心を和ませてくれています。鴨川は勾配が強いために沢山の堰が必要なのですが、おそらく昔の人は治水利水機能だけでなく、景観などの気配りも加えた作りになっていると考えています。

最初に行ったときには、その堰の画像を順々に撮影するつもりでしたので、朝4時半に起きて川上の方ということで西賀茂まで行きました。そこから川下へと展開の予定でしたが、ふと考えが変わって川上へとどんどん登ってしまい、とうとう源流(棧敷ヶ岳付近)を超えて840メートルの山のてっぺんまで登ってしまいました。西賀茂から上り7時間半かかりましたが、下りは何と40分！ それからも年に2、3回、鴨川自体も10回くらい

は源流から最下流まで往復しています。堰などの見回り(笑)や綺麗な景色を眺めていますと、走行中のしんどさもあまり気になりません。おそらく体にはいい作用をもたらしているのではないかと考えていますが、これを「健康のため」などといって始めても続くわけはなかったでしょう。

最近、医療制度改革でも生活習慣を取り上げることが多くなっています。そこでちょっと押しつけがましい提案ですが、皆様それぞれが生活習慣に組み入れることのできる「楽しいもの」で、なおかつ健康に役立つエクササイズを考えられるといいいのではないのでしょうか。続けるためには楽しくないとダメであります。いろいろ工夫してみてください。

今年も皆様にとってよい年でありますようにお祈りしています。

新院長 ご挨拶



京都きづ川病院
院長 丸山 恭平

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月より院長を拝命いたしました。わたしは消化器(とくに内視鏡)を中心にした内科臨床に長年携わってきましたが、これからは病院全体をまとめる重責も担うことになり、これまでとはちがう緊張感をもった新年を迎えました。

病棟の増改築と電子カルテの導入が終わり、昨年はそのスムーズな運用に忙しい一年でした。おかげさまでそれぞれが軌道に乗り、今年は病院機能評価受審という大きな目標をめざします。まだまだ多くの課題があり、困難な道のりですが、一步一步着実に進んでいきたいと考えています。

昨年京都きづ川病院は創立25周年を迎え、あらたな25年に向かってスタートを切りました。職員一同、気持ちを引き締めて、皆様の信頼にこたえるよう更に努力するつもりでおります。今後ともよろしく願っています。

成年スタッフにインタビュー 2006年もがんばります



ICU病棟 看護師
廣澤 香織

看護学校に通いながら、こちらの病院に勤めさせていただき5年が過ぎました。看護師の免許を取得して、現在ICU病棟に勤務しています。初めは、重症の患者様ばかりで何をすべきかわからない状態でしたが、今では先輩方のご指導のもと、少しずつ、自分が何をすればよいのか気づけるようになってきた気がします。毎日の業務に追われがちですが、初心を忘れず、患者様の立場に立った看護を行っていけるように心がけていきたいです。



臨床検査科 臨床検査技師
中尾 誠

一秒、一分、一日。いろいろな節目がありますが、12年という節目は人生の中で一番長いサイクルで回ってくる節目です。仮に100歳まで生きるとしても8回しか回ってきません。今回、私にとって3回目のサイクルが終わったわけですが、就職、結婚、子どもの誕生など、自分の人生の中でさまざまな変化がありました。この次の12年でいったい何があるかはわかりませんが、気持ちも新たにがんばっていききたいと思います。



臨床検査科 臨床検査技師
中村 武豊

今年、京都きづ川病院は機能評価を受けます。病院の機能だけでなく、スタッフのサービスも問われる時代です。機能評価委員の一員として、何が出来るか、改善点はないかを模索したいと思っています。年男という節目の年。自分自身を見つめ直すいい機会でもと思います。後ろ向きでは何事も進みませんが、振り返ることで何かが発見できれば進歩に繋がります。成年。忙しくなる気配は十分ですが、今年一年良い年であることを願います。



リハビリテーション科 理学療法士
関口 智子

2006年は、理学療法士になり京都きづ川病院に勤務して3年目にあたります。リハビリというと「訓練」というイメージが強いようですが、「日常生活を安全に、楽しく、楽に過ごせるように工夫をしたりアプローチをすること」もリハビリの重要な一面だと思います。患者様お一人お一人の「生活」をより深く考え、笑顔と笑いのあふれる日々を過ごしていただけたらと思います。また、落ち着いて見えるせいか、患者様やスタッフからなかなか年相応に見てもらえないので、気力・体力ともに若さを取り戻したいと思っています。

早春告げる梅の香り

城陽梅のやしき 盆梅展

1月10日から

城陽市観音堂の倉田雅彦さん方では、今年も「盆梅展」が行われます。例年この時期に披露される、早春の風物詩。倉田さん宅は「梅のやしき」と呼ばれ、親しまれてきました。一昨年から城陽市観光協会とタイアップ、城陽の観光行事「梅まつり」の一環として開催されています。

樹齢400年以上の銘木も

倉田雅彦さんは観音堂北田在住の花弁栽培農家。昭和30年代に同市の東部丘陵地で山砂利採取が進みましたが、そのために梅林が姿を消していくのを見かねた倉田さんは、梅の古木を自宅に持ち帰り、育て始めたそうです。古木に咲く梅の美しさに魅了され、近畿を中心に全国を渡り歩いて梅の古木を収集しました。盆栽にして大事に育て、今やその鉢の数は180を超えます。中には、樹齢400年以上の銘木もあるとか。ひとりで楽しんでいてはもったいないと、国道24号線沿いの自宅前庭に鉢を並べ、道行く

人が観賞できるようにしたのが盆梅展の始まりです。

観光協会とのタイアップでより身近に

城陽市観光協会は、青谷梅林の「梅まつり」に先立つ梅の行事として広くアピールするため、一昨年からの倉田さんの「盆梅展」の主催に加わり、事業化しました。期間中は駐車場も会場近辺に整備。城陽市内外の多くの方に梅の香りと味のある枝ぶりを楽しんでもらえるようになりました。盆梅ひとつひとつに、倉田さんの思いを込めた命名がされており、その名と梅の姿を見比べるのも一興です。



城陽梅のやしき 盆梅展

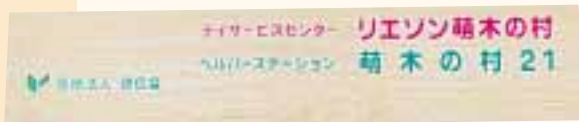
平成18年
1月10日(火)～3月10日(金)
9:00～16:00

会場 倉田雅彦邸
(城陽市観音堂北田・国道24号沿い)

主催 倉田雅彦、城陽市観光協会
☎0774-56-4029

後援 城陽市・京都府山城広域振興局





デイサービスセンター リエゾン萌木の村 オープン!!

12月1日、認知症の患者さんを対象にデイサービスを行う「デイサービスセンター リエゾン萌木の村」が城陽市寺田にオープンしました。利用者の皆さんは、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを受けながら、約6～8時間を過ごすことができます。当面は定員10名ですが、20名まで拡大する予定です。



「ご来所をお待ちしています」
デイサービスセンタースタッフ一同。



ダイニング

利用者が主に過ごされる場所。テレビもご覧になれます。おしゃべりやゲームも。



静養室

気分がすぐれない時にお休みいただけます。

デイサービスって？

通所介護のことです。要支援、要介護状態にある在宅の高齢者の方々が、デイサービスセンター等の施設に通所して、レクリエーション、入浴、食事、機能訓練などの日常生活上のサービスを受けることです。介護保険導入前後から年々利用量が伸びており、厚労省アンケート調査による「今後利用を増やしたいサービス」でもショートステイ（短期入所）に次ぐ上位を占め、高いニーズを示しています。



浴室

広々とした浴室。写真は健常者用。浴槽は全部で三つあり、もう一つは体の不自由な方用の特別仕様。



くつろぎルーム

こたつでごゆるりと。



ヘルパーステーション 萌木の村21 事務所が移転しました

これまで啓信会の介護老人保健施設「萌木の村」内にあった「ヘルパーステーション 萌木の村21」の事務所が上でご紹介した「デイサービスセンター リエゾン萌木の村」の2階に移転しました。これまで以上のサービスに努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。



介護予防運動指導員 養成講習 実技講座を開講!

「デイサービスセンター リエゾン萌木の村」1階には、その広いスペースに筋力トレーニングマシンが設置されています。実はここでは、「介護予防運動指導員養成講習」の実技講座が開講されるのです。

介護予防運動指導員の仕事とは、高齢者が本来もっている身体機能を十分に生かすための適切な筋力向上トレーニングなどを指導し、高齢者の自立を支援すること。講習では介護予防統計学やリスク管理、トレーニングの実践、転倒・失禁・低栄養予防理論など、介護予防に関する幅広い知識・ノウハウを習得できます。

指導員には、トレーニングのスピード、フォームをはじめ、運動の細部に注意を払い、受診者の体から発信されるサインにも敏感になるなど、若年者に対する指導とは異なる知識・対応が要求されるのです。





になるレシピ

●冬のキー素材

寒い季節に役立つ食材いろいろ

さむい冬。冷えた体は風邪ウイルスの標的になりやすいもの。体を芯から温め、諸症状をやらせてくれる食材をご紹介します。日々の献立に応用してみてください。

❗熱が出た



葱 辛みや香りの成分である硫化アリルに発汗作用があるといわれています。熱を追い出し、体を温めるのに役立ちます。

梅干 種を取って練り、熱い番茶を注いで飲みます。お好みで蜂蜜を加えても。体を温め、熱を下げます。

❗コンコン咳が出る 痰が切れない

生姜 頭痛、咳、鼻づまり、冷え、痰のからみなど風邪の諸症状に効果があります。生姜の辛み成分には殺菌効果も期待できます。

❗発熱&黄緑の痰が出る

大根 シアスターゼなどの消化酵素を含むので、消化を促進し、咳・痰の症状を和らげます。



❗のどが痛い

金柑 ビタミンCが豊富です。蜂蜜と合わせてゆっくり舐めてください。痛みが和らぎます。



❗胃腸が弱っている

蕪 強い匂いのもとアレル。これは自律神経を刺激し、冷えた胃腸や内臓の調子を整えます。ビタミンA・B・C、カルシウム、カリウム、鉄を多く含み、血液の循環を促進します。蕪雑炊、蕪粥は体が温まり、弱った胃腸に効果的です。

卵

消化が良く蛋白質やビタミンが豊富。胃腸に負担の少ない卵粥やミルクセーキがおすす。白身には、のどの痛みを和らげ痰を切れやすくしてくれるリンチームという成分が含まれています。



玄米

バランスのよい栄養を含む玄米は、お粥やスープにし、よく噛んでいただくことが大切。生姜や葱を加えると体が温まってより効果的です。

ほかにも、にんにく、連根、シソ、柚子、みかんなど、風邪をひいた体に働いてくれる食材はたくさんあります。上手に摂取して、冬を乗り切りましょう。

管理栄養士 山田 珠子

医療ニュース&トピックス

TOPICS

手術の運行をよりスムーズにする 手術用顕微鏡 OME-8000

ドクターのストレスも、患者さまの負担も軽減

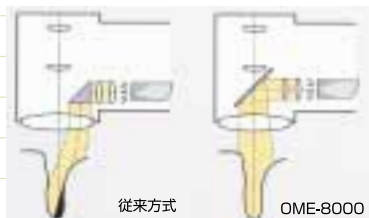
手術用顕微鏡とは、精度の高い繊細な手術手法を生み出すために開発された医療機器です。施術する医師の支援を目的に、患者さまの負担軽減、安全性を考慮されています。京都きつ川病院で採用しているOME-8000は、手術用顕微鏡に求められるすべての機能をさらにグレードアップした高性能機器。医師の集中力を妨げず、かつストレスから解放する手術環境を実現します。施術者にとってよい環境は、患者さまにとっても安心できる環境。優れた手術用顕微鏡は、医師・スタッフと患者さまの信頼関係を強固にしてくれます。

短時間でしかも安全
患者さまに優しい手術環境に

装備された光学機能により正確な手術視野が再現され、助手側でも施術者と同じ立体観察ができるため、介助作業がより



確実にこなします。つまり、手術の運行がよりスムーズになります。手術時間の短縮が図れ、正確かつ安全です。京都きつ川病院では、手術につきものの患者さまの精神的・肉体的負担を少しでも低減できるように、最先端の医療機器を導入、活用しています。



狭く深い術部の無影観察を実現



高解像度かつ忠実な色再現

皆さまのおかげで50年

啓信会 創業50周年記念講演会・祝賀会

啓信会は、おかげさまで創業50周年を迎えました。これを記念し、去る平成17年10月15日(土)、京都ホテルオークラ暁雲の間にて、記念講演会ならびに祝賀会を開催、約300名のお客様がご出席くださいました。



午後3時からの記念講演会は、講師に元内閣官房長官・野中広務氏をお迎えしました。演題は『今、日本を憂う』。大変内容の濃いお話に、ご出席いただいたお客様は皆さん熱心に耳を傾けておられました。



左/ご祝辞をくださる
山田啓二京都府知事
右/藤倉名生様の横笛の
演奏も



午後5時、中野博美理事長の挨拶で始まった祝賀会は終始和やかなお祝いムードに包まれ、無事に宴席を終えることができました。改めて、啓信会を支えてくださる皆様に深く御礼申し上げます。

レポート

京都きづ川病院
文化月間行事

健康まつり

平成17年10月23日(日)
きづ川病院1階フロアにて

毎年恒例の文化月間行事、今年もたくさんの方にご参加いただきました!

一服いかが?



お抹茶コーナーです。
なかなか雰囲気を出しております。

子どもコーナー



ストライクナイン!
どれだけ当たったかな?



さかなつりに挑戦中!



ものづくり体験。お兄さんお姉さんが優しく教えてくれました。

おいしいよ!



盛況の模擬店コーナー。

華道展*



10月31日まで、待合室に展示いたしました。
花は気持ちが和みますね。

文化講演 —— 京都きづ川病院創立25周年を記念して

平成17年11月5日(土)午後2時~3時 文化パルク城陽 4階 大会議室にて

「生活習慣病克服への挑戦 ITをうまく活用し健康になろう」

講師 札幌医科大学大学院教授
日本インターネット医療協議会理事長

辰巳 治之先生

今回の文化講演は、京都きづ川病院の創立25周年記念講演として、札幌医科大学から辰巳先生をお招きしてご講演いただきました。IT時代ならではの、興味深い研究開発内容についてお話しいただきました。



頌春

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

医療法人啓信会

理事長 中野 博美

京都四条病院

院長 中野 昌彦

京都きづ川病院

院長 丸山 恭平

きづ川クリニック

院長 鯉江 久昭

介護老人保健施設 萌木の村

施設長 大隅 喜代志

デイサービスセンターリエゾン 萌木の村

所長 小林 裕美子

訪問看護ステーション きづ川はろー

所長 水落 美智子

訪問看護ステーション 萌木の村

所長 八崎 幸子

ヘルパーステーション 萌木の村21

所長 矢木 和代

ヘルパーステーション リエゾン 大津

所長 長滝 文子

ヘルパーステーション リエゾン 大久保

所長 三谷 カヨ子

在宅支援センター 萌木の村

センター長 木原 章子

ヘルパースクール 萌木の村

ヘルパースクール 萌木の村 大久保校

ヘルパースクール 萌木の村 大津校

最良の医療サービスを提供するために、皆さんからのご意見をお待ちしております。
医療に関する疑問、質問など、お気軽にお寄せください。



啓信会グループ

京都四条病院 きづ川クリニック 老健施設 萌木の村 デイサービスセンター リエゾン 萌木の村 訪問看護ステーション きづ川はろー
訪問看護ステーション 萌木の村 ヘルパーステーション 萌木の村21 ヘルパーステーション リエゾン 大津 ヘルパーステーション リエゾン 大久保
在宅支援センター 萌木の村 ヘルパースクール 萌木の村 ヘルパースクール 萌木の村 大久保校 ヘルパースクール 萌木の村 大津校



医療法人 啓信会 京都きづ川病院

診療科目 内科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科・小児科・外科・
肛門科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・
麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科

受付時間 午前8時30分～午前11時45分
*午後・夜・日・祝は休診 *内科系はきづ川クリニックにて診療

〒610-0101 城陽市平川西六反26-1 ☎0774-54-1111 FAX 0774-54-1119
URL <http://keishinkai.dip.jp>



近鉄京都線「久津川」駅から徒歩15分
近鉄京都線「大久保」駅からタクシー10分